

(令和4年11月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水 産 物 全 般	１１月は養殖魚や輸入品の値上がりによる需要の減少から総入荷量は前年同月比で１５％下回り、総取扱金額は前年同月比並みとなった。 １２月はぶりが旬を迎え、おいしくなる時期である。この時期のぶりは「寒ぶり」と呼ばれ、脂がたっぷりとのり、特においしいとされる。刺身や煮付けはもちろん、寒くなる季節にぴったりのぶりしゃぶなど、体が温まるメニューもあるので、旬を味わい、体調を整えてほしい。
鮮 魚	鮮魚の入荷量は前年同月比で１８％下回り、単価は１８％上回った。 品目別には、はまち（天然）、さんまの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。あまだい、はも（近）の入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。
冷 凍 魚	冷凍魚の入荷量は前年同月比で１１％上回り、単価は９％下回った。 品目別には、冷さけ、冷えびの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。冷さごしの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。
加 工 水 産 物	加工水産物の入荷量は前年同月比で１８％下回り、単価は２２％上回った。 品目別には、ちりめん、塩さんまの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。ゆで丸かに、ゆでせこがにの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚)	
ま あ じ	長崎、鳥取で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で４０％上回り、単価は大型物中心の入荷により、１７％上回った。
ま い わ し	千葉、北海道で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で６８％下回り、単価は１３１％上回った。
さ ば	韓国、宮城、長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で２８％下回り、単価は４２％上回った。
す る め い か	宮城で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で４９％下回り、単価は４３％上回った。
太 物	総入荷量は前年同月比で３２％下回り、単価は１９％上回った。
ぶ り	長崎、鹿児島で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で８％下回り、単価は４％上回った。
さ わ ら	鳥取、韓国で水揚げされたものが主体となる入荷で、入荷量は前年同月比で１４％下回り、単価は１９％上回った。

※ 太物：まぐろ、きはだ、めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚) 冷 さ ば	入荷量は前年同月比で４７％上回り、単価は輸入物の値上がりから２０％上回った。
冷 する め い か	入荷量は前年同月比で１１％下回り、単価は１４％上回った。
(加工水産物) 塩 さ け	入荷量は前年同月比で３０％下回り、単価は３０％上回った。
塩 か ず の こ	入荷量は前年同月比で１３％下回り、単価は２７％上回った。